様式第１号（第１０条関係）

２０２３年度業務実績報告書

提出日　2023　年　12　月　18　日

１．職名・氏名　教授・渡邉敏生

２．学位　　学位　博士、専門分野　経済学　、授与機関　神戸大学　、授与年　2005 年

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 ミクロ経済学Ⅰ（2 単位）　1 年生
②内容・ねらい ミクロ経済学の基礎を学ぶ。家計の消費行動や企業の生産活動を経済学ではどのようにアプローチするのか学習していく。主に、完全競争市場を講義。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 オリジナル・テキストを用意して講義をしている。オリジナル・テキストは、講義の内容と宿題プリントがセットになっている。全 10 講で宿題プリントは 10 枚ある。宿題はすべて回収し、平常点として成績に考慮している。また、学生が間違えやすいところを確認した。中間テストを実施して理解を促している。
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 ミクロ経済学Ⅱ（2 単位）1 年生
②内容・ねらい（自由記述） ミクロ経済学Ⅰを踏まえて、有限の資源が市場を通じた経済活動の中でどのように配分されるかを学習していく。主に、一般均衡分析、市場の失敗（独占、寡占、外部性）、期待効用などを講義。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） オリジナル・テキストを用意して講義をしている。オリジナル・テキストは、講義の内容と宿題プリントがセットになっている。全 10 講で宿題プリントは 7 枚ある。宿題はすべて回収し、平常点として成績に考慮している。また、学生が間違えやすいところを確認した。中間テストを実施して理解を促している。
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 経済数学（2 単位）　1 年生
②内容・ねらい（自由記述） 経済学や経営学を学んでいく上で役に立つ基本的な数学のスキルや思考法を学ぶ。主に、関数（1 次関数から 3 次関数まで）、微分、行列などを講義。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） オリジナル・テキストを用意して講義を行っている。オリジナル・テキストは、講義の内容と宿題プリントがセットになっている。全 10 講で宿題プリントは 10 枚ある。宿題はすべて回収し、平常点として成績に考慮している。また、学生が間違えやすいところを確認した。中間テストを実施して理解を促している。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
外書購読（2 単位）　２年生

②内容・ねらい（自由記述）
現代社会や経済の動向に関する短めの論文（エッセイ）を読んでいく。役に立つ専門用語や思考法について英語および日本語で学ぶ。英語の構文を正確に理解して、明瞭な日本語に訳していく。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）
学生の学力（英語の読解力）に合わせて教材（テキスト）を用意。2023 年度は、世界の将来像を語る起業家のスピーチを英文で読んだ。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
演習Ⅰ（4 単位）　3 年生

② 内容・ねらい（自由記述）
１　教養を身につける。
２　現代の日本社会や経済の動向を把握し、日本が抱える問題点を発見していく。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）
文献を読み、レジュメにまとめたものを個人でプレゼンテーションしていく。発表内容を「イントロダクション」、「展開」、「結論」の 3 つのパートを分け、それぞれを意識して発表するように指導した。発表する力、質問する力を鍛えた。2023 年度は、池谷裕二氏（脳科学者・薬学者）の著作を読みこなした。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
演習Ⅱ（4 単位）　4 年生

②内容・ねらい（自由記述）
「福井・日本・世界」の社会や経済の動き、産業の動向を把握し、マクロ・ミクロの視点から、現在、抱えている問題点を発見する。自分でテーマを決め、卒論を執筆する。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）
各自が卒論のテーマに沿った文献を読み、ゼミ生の前でプレゼンテーション（発表）していく。卒論のテーマを 5 月下旬に決め、夏休み前に中間報告会を実施した。また、夏休み中に数回、フォローアップのゼミを行った。後期のゼミでは原稿の執筆と発表を同時に行い、12 月下旬を初稿提出の締切りとした。年末年始に添削を行い、学生はそれを踏まえて、完成原稿を 1 月中旬に提出する。

(2)その他の教育活動

内容
2023 年度　オムニバス講義　「福井を学ぶ」を担当
「経済面から見た福井の面白いところ」（福井の歴史、他県とのつながり）(7/6)

４．研究業績

(1)研究業績の公表
①著書 【本】
②学術論文（査読あり） 【本】
③その他論文（査読なし） 【本】
④学会発表等 *1 “Financial Dynamics in the Medium Run” (進化経済学会 2023 年 3 月　単独) 【1 件】
⑤その他の公表実績 【本】

(2)科研費等の競争的資金獲得実績
科研費（基盤（C), 2021 年度－2024 年度） 研究課題名：「開放体系における金融不安定性モデルと日本経済分析」 課題番号：21K01443、研究代表者：渡邉敏生

(3)特許等取得

(4)学会活動等

５．地域・社会貢献活動

1　高校出張 (1) 探求講座アドバイザー: 足羽高校(6 月)、武生東高校(12 月） (2) セミナー講師：丹生地区中高一貫セミナー・丹生高校（8 月） (3) 開放講座：大野高校（11 月）

６．大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
入試制度検討委員会　R5.4～現在に至る
(3)学内行事への参加
入試説明会：武生商工高校（7 月）
(4)その他、自発的活動など